



## ●●●●●●●● S-KYT研修事業を実施して ●●●●●●●●

岡山県玉野市消防団

### 1 はじめに

玉野市は岡山県の最南端、児島半島の基部に位置し、東部・南部は瀬戸内海に面しており、北部は岡山市、西部は倉敷市に隣接しています。104km<sup>2</sup>の面積の市域を有しており、海岸線の延長は約44kmの臨海都市を形成しています。年間の平均気温は16.5℃と気候は温暖で、年間降水量は約1,000mmと雨が少ない典型的な瀬戸内気候を示しており、四季を通じて激しい気候の変化がない地域です。

また、玉野市は瀬戸内の美しい自然に恵まれ、その沿岸一帯には屈曲した入江が多く、太古より舟航の便に恵まれた天然の良港として栄えるとともに、入江を利用した塩の生産地としても知られるようになりました。

明治には、宇野線開通と宇高連絡船の就航により、玉野市は本土と四国を結ぶ海上交通の要衝として繁栄の基礎が築かれました。しかし、昭和63年の瀬戸大橋開通に伴う宇高連絡船の廃止によって交通体系が劇的に変化し、さらに、明石海峡大橋や瀬戸内しまなみ海道の開通によって、「瀬戸内三橋時代」を迎えました。このことから、玉野市の繁栄の基礎となった港湾機能について見直しを図るため、西日本最大級の大型客船バース等の整備が進められた結果、平

成18年3月に完成の運びとなりました。

港湾都市・臨海都市として美しい瀬戸内海を近くに感じることのできる街、四季折々の自然を満喫できるすばらしい街として、胸を張れる玉野市です。

### 2 玉野市消防団

玉野市消防団は地域住民の安全と安心を守るため、非常時、平常時とも昼夜を問わず熱心に活動しています。平成23年4月1日現在、1本団、18分団の団員571名（うち女性消防団員5名）で組織され、消防ポンプ自動車4台、小型動力ポンプ付積載車14台を配備しております。

### 3 S-KYT研修を実施したきっかけ

玉野市消防団では年10回程度、各種研修会を実施し、常日頃から団員の安全管理の徹底及び資質の向上を推進しております。安全管理を各団員が心掛け、訓練実施時はもとより、災害現場においても公務災害ゼロを目指しておりましたが、平成20年度1件、平成21年度1件の公務災害が連続して発生したことから、消防団員及び幹部から「これまでとは異なる角度から、いま一度安全管理体制を見直すべく、S-KYT研修を実施してはどうか。」との意見が出されまし

た。

そこで、平成22年度に消防団本団幹部、分団長及び部長クラスを対象としたS-KYT研修を、消防基金から講師をお招きして実施することにしました。

#### 4 S-KYT研修を実施して

平成22年11月に玉野市消防団の部長以上の幹部約60名を対象に、S-KYT研修を実施いたしました。4名のコーディネーターのわかりやすい指導のもと研修は進められ、DVDの視聴、指差呼称や唱和、タッチアンドコール、4ラウンド法と盛りだくさんの内容が続きました。参加した団員達は、研修の序盤こそ緊張気味でしたが、実際に声を出し、体を動かしていくにつれて緊張もほぐれ、積極的になっていきました。

通常の訓練や消防活動で行っている作業をイ

ラストにした図を見ながら、グループごとに「どこにどのような危険が潜んでいるか。」を皆で話し合い、それぞれ発表していきました。いつもの何気ない消防団活動の中にも、多くの危険が潜んでいることを再確認するとともに、その危険を回避するためにはどうするのかということについて、具体的に考える良い機会になりました。また、今後の消防団活動の中で現実にそういった状況・場面に遭遇したとき、危険を予知する訓練であるS-KYT研修での経験は、必ず活かされるものと思います。

今回は約4時間の研修でしたが、非常に効果のある研修であることを参加者全員が感じるものでした。それだけに全員が研修終了時間いっぱいまで、真剣に、また熱心に取り組みました。また、そればかりではなく、参加できなかった団員達にもこの研修内容を伝達し、今後も



指差し唱和



タッチアンドコール

S-KYTを日ごろから実施していこうと意気込む姿が、各所で見られました。

後日行われた反省会の中では、「危険予知能力を磨くことで危険を先取りし、消防団員として消防活動・訓練等の場でこれを活かせる。」「団

員が日常の中で、危険要因への理解を深めることができる。」「リーダーが適切な安全対策を指示する訓練にもなることから、リーダー育成にも役立つ。」という意見が挙がり、本市消防団員には大変に好評でした。



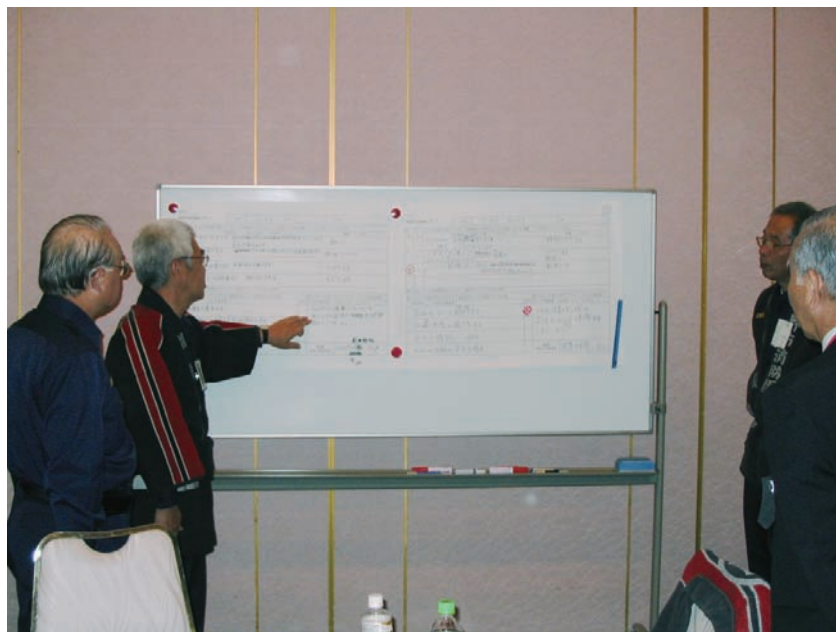
4ラウンド法

## 5 今後の取組について

S-KYT研修が好評だったことから、今年度も消防基金の公務災害防止研修事業を活用し「消防団員健康セミナー」を実施する予定です。

また、今後についても「S-KYT研修」を始め、消防団員の公務災害ゼロを目指し、健康と安全

についての認識を高めるためにも、「消防団員健康セミナー」、「消防団員安全管理セミナー」等の公務災害防止研修を団員が定期的に受講できる機会を設け、玉野市地域住民の生命・身体・財産を守る消防団員の安全管理意識の高揚を図りたいと考えています。



発表